

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたので送付いたします。ご覧ください。次回9月の「てがたん」は9月14日(土)で、「秋の虫」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ

次回のてがたん下見&スタッフ研修は9月7日(土)です。よろしくお願いいたします。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→水の館前の用水路→漁協前の栈橋→手賀沼遊歩道→釣り堀前の船着き場
- 観察日時/天気 2008年8月9日(土)/晴れ
- 参加者 22名
- スタッフ 10名(石原直子、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄、吉田一博、畠中暁美・五十音順)
- 鳥博職員 3名(岡廣志、斉藤安行、村松和行)

観察記録 ー8月に観察した生き物リストー

【鳥類】

カイツブリ、ゴイサギ、チュウサギ、オオバン、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、カワラヒワ、ハシブトガラス、コブハクチョウ、アヒル

【両生類・魚類・甲殻類】

トウキョウダルマガエル、モツゴ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ、メダカ、カダヤシ、トウヨシノボリ、ヌマチチブ、スジエビ、アメリカザリガニ

【昆虫・クモ】

[トンボの仲間] シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ウチワヤンマ、コシアキトンボ、チョウトンボ、ノシメトンボ、アジイトトンボ

[チョウの仲間] キアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ

[バッタの仲間] ショウリョウバッタ、オンブバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、ヒシバッタ、コバネイナゴ

[キリギリスの仲間] ウスイロササキリ、クサキリ

[コオロギの仲間] エゾエンマコオロギの幼虫、シバズ

[セミの仲間] アブラゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ

[コガネムシの仲間] コフキコガネ、マメコガネ、アオドウガネ

【花・草本】

[キクの仲間] オグルマ、アメリカタカサブロウ、セイヨウタンポポ、ケキツネノボタン [アカネの仲間] ヘクソカズラ

[ゴマノハグサの仲間] トキワハゼ、アゼナ [セリの仲間] セリ [ブドウの仲間] ヤブガラシ

[マメの仲間] シロツメクサ [オモダカの仲間] オモダカ [ガマの仲間] ヒメガマ

[イネの仲間] イネ、シマスズメノヒエ、マコモ [アヤメの仲間] ニワゼキショウ [トウダイグサの仲間] コニシキソウ

【花・木本】

ムクゲ、クチナシ、ヤマハギ



網を仕掛けた場所



今回の案内人

松村定雄さん

保田行弘さん

今回のてがたんのテーマは「手賀沼の魚」でした。地図にある番号の場所に網をしかけて、当日どんな魚が手賀沼にいるのか、みんなで調べました。(①は仕掛け網ではなく、すくって魚を捕まえました)

①用水路

特徴：三面がコンクリートで作られた用水路でトウヨシノボリやドジョウが多く、メダカもこの場所のみで観察されました。



網を使って子供たちが魚を一生懸命探していました。



ドジョウ

メダカ以外にドジョウもこの場所で一番多く観察できました。



トウキョウダルマガエル

トウキョウダルマガエルが4匹見つかりました。彼らは、ニホンアマガエルのように四肢に吸盤がないので、コンクリートで造られた用水路を登ることができません。てがたん下見の時にも数匹がここで見つかりました。ちなみにニホンアカガエルも四肢に吸盤はありません。



エゾエンマコオロギ (幼虫)

水田ではエゾエンマコオロギが見つかりました。エゾエンマコオロギは、北海道では普通にみられるコオロギですが、本州では東北地方から中部地方にかけて、局所的に生息しています。大きさは2~2.5cm程で、エンマコオロギよりも小さく、黒みが強い色をしています。眼の上にある黄色がかかった白い模様が小さいことも特徴です。



タイリクバラタナゴ

中国大陸東部と朝鮮半島南部が原産で1940年代に日本に移入された魚です。写真はオスで、繁殖期になると赤みがまして、美しい姿になります。今回も何匹か赤みが強い個体がありました。彼らはドブガイなどの二枚貝のエラに卵を産みつけます。タイリクバラタナゴが手賀沼で多く見つかるということはドブガイやカラスガイのような二枚貝も増えているということになります。

③遊歩道沿い

特徴：この場所は①の用水路の沼への注ぎ口でヨシやマコモが生えている場所です。タイリクバラタナゴとモツゴが多く観察されました。



沼の中に入って魚を探してみました。ヨシやマコモの根元に隠れていたスジエビが多くとれました。



たくさん魚がとれました！



スジエビ

今回のてがたんのテーマは手賀沼の魚でしたが、スジエビもたくさん観察できました。手賀沼にはスジエビの他に、テナガエビなどがあります。テナガエビの若い個体はスジエビによく似ています。額角(目と目の間にある突起)にある刺の数がテナガエビの方が多いことで区別できます。

④船着き場

特徴：ヨシやマコモが多く生えている場所で、モツゴが多く観察されました。ヌマチチブも観察されました。



みんなで観察会のまよめの様子。みんなとれた魚に興味津々でした。



ヌマチチブ

観察したヌマチチブは3cmくらいでした。大きいものは15cmほどになります。



チョウトンボ

ヨシやマコモの生えている場所にチョウトンボがいました。チョウトンボは後翅が前翅よりも幅が広く、青紫色でチョウのようにヒラヒラとゆっくり飛ぶトンボです。ヨシやマコモのような抽水植物がよく繁茂した水辺を好むトンボで、柔らかい泥の中で幼虫は生活します。